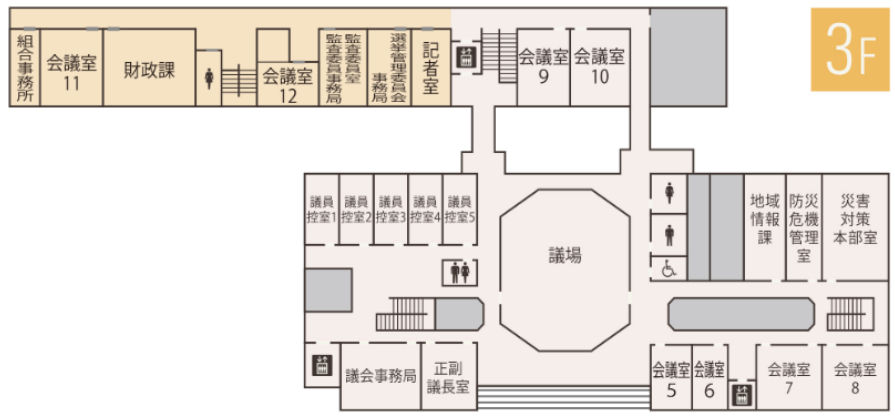
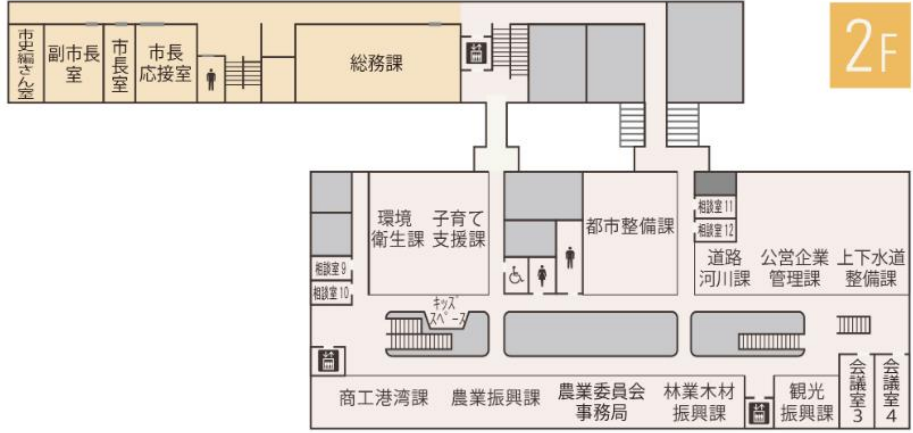
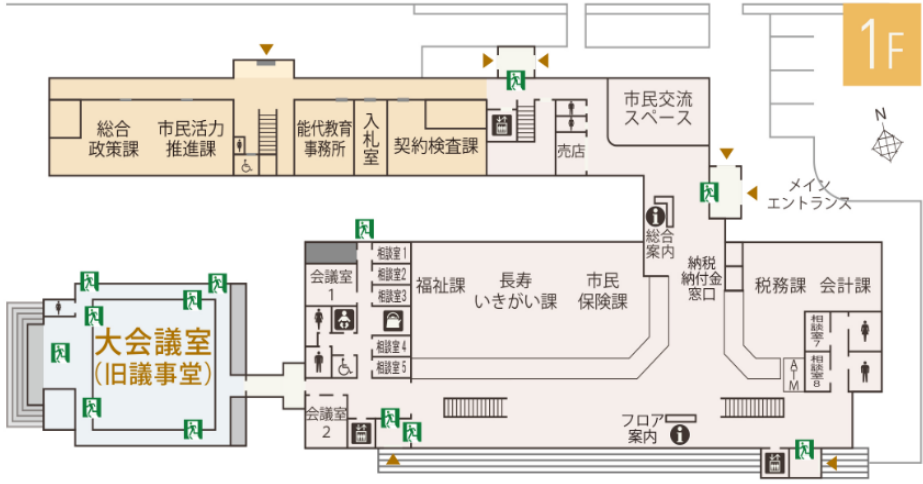


◆事例カテゴリーⅡ ③秋田県能代市

配置図

第一庁舎
新庁舎



新潟県長岡市のケース

市役所本庁機能を中心市街地活性化のために集約し、計画段階、資金調達段階、運営段階において市民と連携し、市が整備を行った複合施設。

市の状況

人口265,557人。平成の大合併を経て、日本海に面する都市となった中越地方および長岡都市圏の中心都市。上越新幹線で東京から約80分、関越自動車道で東京から約3時間の位置にあり、経済面において関東地方との結びつきが強いと言える。

施設規模

敷地面積 約14,938㎡
 延床面積 約35,485㎡
 導入施設 市役所庁舎、市議会議場、アリーナ、市民交流ホール、屋根つき広場

費用

施設整備費 総額約131億円
 (土地は市の所有地。一般財源3億円、基金45億円、市債55億円[合併特例債、特定事業用市民債を含む]、交付金・補助金等29億円)

スケジュール

検討[8ヵ月] :平成18年7月～
 (平成19年2月市議会可決)
 基本計画[1年] :平成20年度
 工期[2年3ヵ月] :平成21年12月～平成24年2月
 開業 :平成24年4月

